

ファクト シート

戦争は偏見を増長させる

人種差別、軍国主義、過剰な実利主義は三つの諸悪であり、様々な形の暴力となって悪循環を繰り返す、とマーティン・ルーサー・キング・ジュニア博士が説いたのは有名な話です。戦争とそのプロパガンダは何度となく人種差別、異宗教への増悪、愛国主義など様々な偏見を助長し、その助長された偏見が更なる偏見を生んできました。

人種差別

人種差別が最も非人道的行為を露呈させることは、様々な研究で明らかになっています。例えば第一次世界大戦の際、フランスのメディアと米議会は、この戦いがドイツ民族を打ち負かす機会と言わんばかりに人種の違いを過剰なまでに強調しました。¹



第二次世界大戦では、南太平洋域で海軍を指揮したウィリアム・ハルシーは自己の任務をこう評しています。「ジャップ（当時の日本人の蔑称）を殺して殺して殺しまくる。」更には、戦争が終わったその時は、日本語を地獄でのみ使える言葉にしてやる、と誓いました。²より最近では、米海軍は暗殺者を上手く育てる方法論を開発するために精神科医を雇い入れました。その方法論には、「潜在的な敵を自分たちより劣った生き物だと見なし…、現地の慣習が何であれ馬鹿げたものと見下し、現地の著名人は誤って英雄視されている悪魔と見なすように仕向ける」手法が取り入られています。³

歴史家のキャサリン・ベレーは、戦後の米国社会と白人超越主義者による暴力増加の間に相関関係があると指摘しています。「例として、クー・クラックス・クラン団員の急増は、戦闘から帰還した退役軍人や戦争の余波といった動きと同調性が見られ、この相関関係は、反移民感情、ポピュリズム、経済的困窮などこれまで一般的に指摘されてきたあらゆる分野に比べて明白です。」⁴

異宗教への偏見

聖戦や植民地戦争に遡ってみると、いかに長い間、宗教が戦争正当化の材料に使われてきたか、時として表面化しない偏見やその他の動機を隠してきたか、わかります。それから数世紀経っても、宗教的理由を盾に開戦が正当化されています。



例えば20世紀に入って間もなく、米大統領ウィリアム・マッキンリーは神からの「啓示」だとしてフィリピンの支配に踏み切りました。⁵

21世紀の今でさえ、戦争支持派は反イスラムを声高に唱えます。カリム教授によると、「歴史的固定観念となった『悪いイスラム教徒』のイメージは、西欧圏の政治家にとってイスラム系国家を攻撃する好材料であり、イスラム教徒は野蛮で暴力的だと西欧諸国の一般市民が信じ込むようになれば、イスラム教徒の殺戮と所有物破壊に対して抵抗感が薄れることでしょう。」⁶ 軍部自由宗教財団によると、心理カウンセリングを求めても逆に「戦場」にとどまって「キリストのためにイスラム教徒を殺せ」と聖職者に助言された、と複数の兵士が報告しています。⁷

異宗教への憎悪、人種差別、盲目的愛国主義、これらなしに戦争を正当化するのは難しいことです。

ナショナリズム

第一次世界大戦の開戦当時、欧州にいた多くの社会主義者はそれぞれの国を応援し、それまでの国境を越えた労働者階級のため奮闘を放棄してしまいました。⁸ 愛国主義が戦争を正当化する新しい形の宗教となったのです。人々を戦争に駆り立てようとする時、敵との間に差異を見つけられず、争う理由がないとなれば、常にこう考えることができます。「敵は我々の国に属さず、我々の国旗を崇拝しない。」ベトナム戦争を正当化するために、故意に誤った情報が使われ、米上院議員ウェイン・モースがこれを指摘した時、仲間の議員が制しました。「我々の国旗がはためいているその前で大統領に喧嘩を売ろうというのか。リンドン（ジョンソン大統領）が望んでいるものは『我々が彼の地で行った行為は正しく、我々は大統領を支持している』と書かれた一枚の紙だけだ。」⁹





詳しくはこちら

worldbeyondwar.org/bigotry

World BEYOND Warはボランティアや活動家、そして関連組織で構成された世界的な草の根ネットワークです。戦争撲滅と平和・非軍国主義に基づく世界的安全保障システムの新たな構築を提唱しています。全ての戦争を終わらせるための世界的な活動に参加ご希望の方は、WorldBEYONDWar.orgのウェブサイトをご覧ください。

参照

1. Lasswell, Harold. *Propaganda Technique in World War I*. Cambridge, The M.I.T. Press, 1971. "President Signs Declaration of War." *New York Times*, 8 December 1917, <https://www.nytimes.com/1917/12/08/archives/president-signs-declaration-of-war-on-austria-hungary-after-congress.html>
2. Ehrenreich, Barbara. *Blood Rites: Origins and History of the Passions of War*. London, Virago Press, 1998.
3. Grossman, Dave. *On Killing: The Psychological Cost of Learning to Kill in War and Society*. New York, Back Bay Books, 1995.
4. "How America's Perpetual Warfare Abroad Is Fueling an Increase in White Supremacist Violence in U.S." *Democracy Now*, 20 November 2018, https://www.democracynow.org/2018/11/20/how_americas_perpetual_warfare_abroad_is
5. McKinley, William. "William McKinley's Imperial Gospel." *Major Problems in American Foreign Relations*, edited by Thomas G. Paterson and Dennis Merrill, vol. 1, D.C. Heath, 1995, 369-370.
6. Lasswell, Harold. *Propaganda Technique in World War I*. Cambridge, The M.I.T. Press, 1971.
7. Sullivan, Paul and Mikey Weinstein. "Vets for Common Sense and Religious Freedom Org Slam Christian Proselytizing in U.S. Military, GOing to God Won't Make it for PTSD Victims." *Veterans Today*, 10 August 2010, <https://www.veteranstodayarchives.com/2010/08/10/vets-for-common-sense-and-religious-freedom-org-slam-christian-proselytizing-in-u-s-military-going-to-god-wont-make-it-for-ptsd-victims/>
8. Ehrenreich, Barbara. *Blood Rites: Origins and History of the Passions of War*. London, Virago Press, 1998.
9. Brewer, Susan. *Why America Fights: Patriotism and War Propaganda from the Philippines to Iraq*. New York, Oxford University Press, 2009.